

平成22年3月15日 発行  
 毎月 1回15日発行  
 編集兼 全国漁港漁場協会  
 発行人 社団法人 齋田研一  
 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階  
 電話 東京(5114)9981  
 定価 1部 70円  
 (会員の購読料は会費の中に含む)

# 漁港漁場月報

## 漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

### 活力ある漁村づくりのリーダー育成

#### 水産庁がシンポジウム開催

水産庁主催によるシンポジウム「活力ある漁村づくり」が、2月22日午後1時20分から東京・千代田区のルポールホールで開催された。活力ある漁村づくりは、地域固有の様々な課題への取り組みを地域が一体となって推進していく必要がある、特に地域の



挨拶する橋本部長

かが大切なポイント。地域の持つ魅力を客観的に評価し、人材を育て、新しい視点で魅力づくりをしよう、という趣旨で、優れたリーダーが活躍できるような環境を整える必要がある。また、優れたリーダーが活躍できるような環境を整える必要がある。また、優れたリーダーが活躍できるような環境を整える必要がある。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。

「塩」は、漁師の奥さん達による「海士乃塩」を使った塩辛・梅干・干物作りと、松江・広島・大阪等のイベントでの販売を実施。こうした活動からコミュニティの活性化にも繋がっている。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。

「潮風」は、隠岐牛のブランド化の取組で、平成18年3月に出荷した3頭は、全て高品質のA5ランクに格付けされた。



基調講演をした山内町長

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

山内町長は、「海士乃塩」は島の伝統を、生き残るための「守り」の戦略として、徹底した財政改革を行い、町の議

### 21年度漁港漁場講習会を開催

#### (社)全国漁港漁場協会



平成21年度漁港漁場講習会の様子

(社)全国漁港漁場協会は、水産庁の後援を受けて、2月8日及び9日の3日間、東京・港区の三會堂ビル・石垣記念ホールで「平成21年度漁港漁場講習会」を開催し、全国から約120名が参加した。

講習会には、最新の情報を提供すべく、時宜を得たテーマを選んできた。今回は、水産基盤整備事業、つくり育てる漁業の概要等に加え、昨年水産庁で有識者による多角的な議論を行ってまとめられた「水産環境整備のあり方」と「漁村活性化のあり方」に関して説明をお願いした。また、

講習会には、最新の情報を提供すべく、時宜を得たテーマを選んできた。今回は、水産基盤整備事業、つくり育てる漁業の概要等に加え、昨年水産庁で有識者による多角的な議論を行ってまとめられた「水産環境整備のあり方」と「漁村活性化のあり方」に関して説明をお願いした。また、

講習会には、最新の情報を提供すべく、時宜を得たテーマを選んできた。今回は、水産基盤整備事業、つくり育てる漁業の概要等に加え、昨年水産庁で有識者による多角的な議論を行ってまとめられた「水産環境整備のあり方」と「漁村活性化のあり方」に関して説明をお願いした。また、

講習会には、最新の情報を提供すべく、時宜を得たテーマを選んできた。今回は、水産基盤整備事業、つくり育てる漁業の概要等に加え、昨年水産庁で有識者による多角的な議論を行ってまとめられた「水産環境整備のあり方」と「漁村活性化のあり方」に関して説明をお願いした。また、

講習会には、最新の情報を提供すべく、時宜を得たテーマを選んできた。今回は、水産基盤整備事業、つくり育てる漁業の概要等に加え、昨年水産庁で有識者による多角的な議論を行ってまとめられた「水産環境整備のあり方」と「漁村活性化のあり方」に関して説明をお願いした。また、



コーディネーターの受田副学長

熱心にパネルディスカッション  
 第2部のパネルディスカッション「活力ある漁村づくり」のために、高知大学副学長の受田浩之氏をコーディネーターとして、津津漁業協同組合の滝澤満氏、事例発表者の大江和彦氏、石原弘氏、下津

熱心にパネルディスカッション  
 第2部のパネルディスカッション「活力ある漁村づくり」のために、高知大学副学長の受田浩之氏をコーディネーターとして、津津漁業協同組合の滝澤満氏、事例発表者の大江和彦氏、石原弘氏、下津

熱心にパネルディスカッション  
 第2部のパネルディスカッション「活力ある漁村づくり」のために、高知大学副学長の受田浩之氏をコーディネーターとして、津津漁業協同組合の滝澤満氏、事例発表者の大江和彦氏、石原弘氏、下津

熱心にパネルディスカッション  
 第2部のパネルディスカッション「活力ある漁村づくり」のために、高知大学副学長の受田浩之氏をコーディネーターとして、津津漁業協同組合の滝澤満氏、事例発表者の大江和彦氏、石原弘氏、下津

熱心にパネルディスカッション  
 第2部のパネルディスカッション「活力ある漁村づくり」のために、高知大学副学長の受田浩之氏をコーディネーターとして、津津漁業協同組合の滝澤満氏、事例発表者の大江和彦氏、石原弘氏、下津

# 漁港漁場協会女性役員セミナーを開催

## (社)全国漁港漁場協会



セミナーに参加した女性役員ら

### 漁港漁場漁村の整備と利用、漁村活性化に関する漁村女性からの提案について意見交換

(社)全国漁港漁場協会は、3月2日午後1時30分から東京・千代田区の商工会館において、平成21年度漁港漁場協会女性役員セミナーを開催した。

このセミナーは、平成12年度から毎年継続して行っているもので、漁村づくり、地域づくり、地域活性化については、漁村の暮らしに主体的に関わる女性の意見や力が不可欠であることから、その力を一層発揮できるようにすることを目的に実施している。これまで、漁村づくり、地域資源の活用と女性の取組等についての意見交換や現地視察などを行ってきた。

今回のセミナーの冒頭、全国漁港漁場協会の田中潤児会長が、「漁業就業者の減少・高齢化、漁協合併の進展など、漁業構造の変化が進むとともに、漁村地域社会の暮らしのあり様が変化している。また、水産庁連年予算の削減が続く、漁業の重点化、効率化が求められる。こうした中で、漁業を進展させ、漁村の活性化を図っていくには、きめ細かな漁港、漁場、漁村の整備、有効活用を行いながら、活性化に向けた各種施策を積極的に行っていく必要がある」と述べ、今年度の新たな漁港漁場整備計画に向けた取り組みについて、各



全員参加でキーワードの整理作業

場、漁村の整備、有効活用を行いながら、活性化に向けた各種施策を積極的に行っていく必要がある」と述べ、今年度の新たな漁港漁場整備計画に向けた取り組みについて、各

田中潤児会長が、「漁業就業者の減少・高齢化、漁協合併の進展など、漁業構造の変化が進むとともに、漁村地域社会の暮らしのあり様が変化している。また、水産庁連年予算の削減が続く、漁業の重点化、効率化が求められる。こうした中で、漁業を進展させ、漁村の活性化を図っていくには、きめ細かな漁港、漁場、漁村の整備、有効活用を行いながら、活性化に向けた各種施策を積極的に行っていく必要がある」と述べ、今年度の新たな漁港漁場整備計画に向けた取り組みについて、各

## 廃ポリタンク大量漂着 日本海沿岸地域に1万2000個

環境省は、2月5日、日本海沿岸地域等への廃ポリタンクの漂着状況を公表し、今冬約1万2000個が漂着したことを公表した。

近年、冬場を中心に、日本海沿岸地域には毎年のように大量の廃ポリタンクが漂着しているが、今冬1月末までに沖縄から北海道にわたる18道府県の海岸に総計約1万2000個の廃ポリタンクが漂着していることが、関係道府県からの情報によ

とも、引き続き、漂着状況の調査、廃ポリタンクや内容物に関する情報収集等を行うとしている。

廃ポリタンクの漂着は、平成12年頃から冬場を中心に毎年約1万2000個が漂着している。漂着状況は、秋田県1923個、石川県1921個、1000個を超えるのは、島根、山口、長崎、山形の各県。

蓋が閉まっている一部のポリタンクの中には液体が残っているものがあり、関係県の分析で強酸性の液体が検出された例もあるため、環境省は、関係道府県と連携し、海岸に漂着している廃ポリタンクに安易に触れないよう注意を呼びかけると

## 現地研修会と担当者実務研修会を開催 静岡県漁港漁場協会

静岡県漁港漁場協会は、平成21年度の漁港漁場現地研修会を、3月16日、17日の2日間で、また漁港漁場関係担当者実務研修会を3月26日に開催した。

現地研修会は、例年は静岡県と共通課題を有する他県の地域を訪問し、漁港漁場漁村に関する各種事業の進捗状況と漁村の活性化への今後の対応等を現地関係者と意見交換しているが、本年度は、漁港漁場整備に係る環境変化等を踏まえ、静岡県内の先進的な漁港漁村を訪問し、施設等を見学し、地元関係者と意見交換を行うこととした。

研修会には、会員、関係機関、団体の15名が参加した。



荷捌き施設を視察し意見交換

加し、静岡市の清水漁港区と清水漁協、浜松市の舞阪漁港と清水漁協の両漁協と清水漁港区は、静岡市の清水漁港区は、静岡市の清水漁港区の一画にあり、漁船の係留、水揚げ等の機能施設となつている。また、清水漁協では静岡市よりの委託を受けて清水港海づり公園(又カブロー)の管理業務を行っている。海づり公園は、外周が釣りエリア、内側が親水広場・休憩スペースと、多目的広場となっており、親水機能、交流機能を提供し、地域の活性化に役立っている。

由比港漁協は、外港整備が本年度完成し、22年から準HACCP対応による荷捌所、冷蔵



担当者実務研修会の様子

毎月一度の漁港の清掃活動(25年間継続中)、地元小中学生を対象にした「食育教室」・「漁港体験教室」など魚食普及活動を実施している。

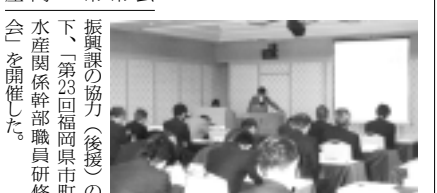
舞阪漁港は、浜名湖に注ぐ都田川の外海口にある約3種川漁港で、順調に整備促進が図られている。同漁港では、組合員がシラス漁を中心に、浜名湖内でのアサリ採貝、小型定置、各種刺し網、のり、かき養殖等多様な漁業が営み、また同漁協女性部は、水揚げ、魚種の選別、出荷、荷捌き場、船などに積極的に取り組

## 水産庁が22年度予算等を説明(担当者実務研修会)

2月26日に、静岡市のホテルセンチュリー静岡で開催された漁港漁場関係担当者実務研修会(後援：静岡県)には、県庁、市町村や漁協、水産関係団体、企業等の担当者47名が参加した。

冒頭、静岡県漁港漁場局長の松井浩夫が、漁港整備の現状と、今後の漁港整備計画について説明した。次に、同部防災課長が、漁港整備計画の山口正統が、漁港整備の重要性、漁港整備の現状と、今後の漁港整備計画について説明した。次に、同部防災課長が、漁港整備計画の山口正統が、漁港整備の重要性、漁港整備の現状と、今後の漁港整備計画について説明した。

## 第23回 市町水産関係幹部研修会を開催 (社)福岡県漁港漁場協会



(社)福岡県漁港漁場協会は、2月18日福岡市の「ホテルラフォー福岡」において、水産庁、福岡県農林水産部水産局水産関係幹部職員研修会を開催した。

この研修会は、県内市町の水産関係幹部職員を対象とした研修会であり、今回は41名が参加した。

研修会では、国及び県の漁港漁場整備事業や新たな実施される「農山漁村地域整備交付金制度」についての説明などが行われ、出席者は熱心に聴講していた。

内容および講師は次のとおり(敬称略)。

- ①平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ②平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ③平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ④平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑤平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑥平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑦平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑧平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑨平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑩平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑪平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑫平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑬平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑭平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑮平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑯平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑰平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑱平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑲平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ⑳平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉑平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉒平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉓平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉔平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉕平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉖平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉗平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉘平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉙平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉚平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉛平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉜平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉝平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉞平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㉟平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊱平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊲平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊳平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊴平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊵平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊶平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊷平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊸平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊹平成22年度水産関係幹部職員研修会
- ㊺平成22年度水産関係幹部職員研修会

## 漁港往来

- 2月3日(水)
  - 沖縄県漁港漁場協会 事務局長宮里精有氏
  - 同協会書記田村春氏
  - 2月8日(月)
    - 沖縄県農林水産部 漁港課主任技師奥平勝昭氏、沖縄県農林水産部農林土木事務所農林土木事務所 所長村瀬浩二氏
- 2月23日(火)
  - 田沼氏、同土木事務所主任技師比嘉正一氏
  - 沖縄県漁港漁場協会 事務局長宮里精有氏
  - 2月23日(火)
    - 国土交通省北海道開発局農林水産部水産課 長堀越伸幸氏、茨城県漁港協会専務理事山崎 聡二氏
- 2月23日(火)
  - 田沼氏、同土木事務所主任技師比嘉正一氏
  - 沖縄県漁港漁場協会 事務局長宮里精有氏
  - 2月23日(火)
    - 国土交通省北海道開発局農林水産部水産課 長堀越伸幸氏、茨城県漁港協会専務理事山崎 聡二氏

## 水産庁人事

(3月1日付)

漁港漁場整備課 海外水産水産専門官 福岡県農林水産部水産局 水産関係課参事補佐兼漁